




8 CHANNEL
CUE BOX

CB-82

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。

 安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境



引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器故障、火災の原因になります。その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント



ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り5mmのISOネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して、取り付けてください。5kgを越える機器を取り付ける時は、二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認



日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限りAC100V ± 10%となっています。これ以外の電圧が加えられずと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。

必ず規定の電圧を供給してください。

DC電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。

DC電源仕様の機器にAC（交流）電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給



電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチがOFFになっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチがONになったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやボリュームの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時

内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性も

あります。

尚、この時電源のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源OFF直後のこの様な作業はやらないでください。（コンデンサーの放電を待つ為最低3分必要です）

2. 運用中の安全確認

2-1. 電源プラグの清掃



電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保

3-1.

[1. 設置に際して] の注意がそのまま適応されます。



3-2. その他



機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kgを越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

GENERAL	4
SPECIAL FEATURE	4
OPERATION	5 ~ 7
CB-82 CUE AMP UNIT	
MAIN OPERATION PANEL	5
1. PAN	
2. LEVEL INDICATOR	
3. INPUT LEVEL	
4. CUT	
5. POWER INDICATOR	
6. MASTER LEVEL	
SUB OPERATION PANEL	6
7. HEADPHONE	
8. EARPHONE	
9. TONE CONTROL	
10. STEREO/MONO	
BOTTOM PANEL	6
11. INPUT	
12. OUTPUT	
13. CONNECTOR PIN ASSIGN	
CUE STAND	7
14. ANGLE ADJUST KNOB	
15. HEIGHT ADJUST KNOB	
16. HEADPHONE HOOK	
17. CABLE CRAMPER	
18. CASTER	
TECHNICAL SPECIFICATION	8
BLOCK DIAGRAM	9
APPEARANCE	10

GENERAL

CB-82は、8chの入力を備えたキューボックスです。

入力チャンネルはモニターミックス用のステレオ回線と6チャンネルのモノ回線からなり、モノ回線にはパンポッドが用意されています。さらに、ヘッドホン出力をモノラルにする“MONO”スイッチによりイヤホンへの対応も可能です。

また、マスターフェーダー上部の“CUT”スイッチはヘッドホンへの出力をカットする為のもので、キューマスターCM-82を使用したフルシステムではコントロールルームからのリモートカットが可能です。

さらに、ヘッドホンアンプにはクオリティーの高いトーンコントロールを装備。よりミュージシャンのニーズに迫った製品に仕上がっています。

CB-82はこれまでのアドギア製品同様、一貫した音質重視設計から生まれたグレードの高いキューボックスです。

SPECIAL FEATURE

厳選されたパーツによる音質重視設計

4W出力(8 負荷)で余裕のある音質・音量

各チャンネルに入力シグナルインジケータを装備

低音・高音それぞれ±12dB可変のトーンコントロール付

リモートコントロールが可能なマスターカット機能

高さ及び角度が簡単かつ確実に変えられるラッチメカ搭載の専用スタンド

リファレンス・グランド方式の採用により、グラウンドループがもたらすノイズやクロストークの低減を実現

キューボックスをシリーズで接続できるOUTPUTコネクタを装備

ご使用にあたって

CB-82を直列に接続する場合(OUTPUTコネクタを使用)、リファレンスグランド機能により原理的には電源の許す範囲で何台でも接続する事ができますが、実際の使用上では最大5台程度を目安とするのが適当であると思われます。

これは工事の状況や、ご使用になるヘッドホンによっても異なりますが、ケーブルでの電源電圧効果等により台数が増す毎にパワーの低下を招く為です。

一般には、ヘッドホンよりもイヤホンの方が消費電力が少ないので、その分多くのキューボックスを直列にできます。

OPERATION

CB-82 CUE AMP UNIT

MAIN OPERATION PANEL

1. PAN

1 ~ 6chの信号の定位をコントロールします。
尚、モニターL/Rはステレオに固定されています。

2. LEVEL INDICATOR

それぞれのチャンネルに設けられたレベルインジケーターにより入力信号の有無を確認できます。

3. INPUT LEVEL

CB-82の入力レベル（モニターL/R、1 ~ 6ch）をそれぞれ独立してコントロールします。

4. CUT

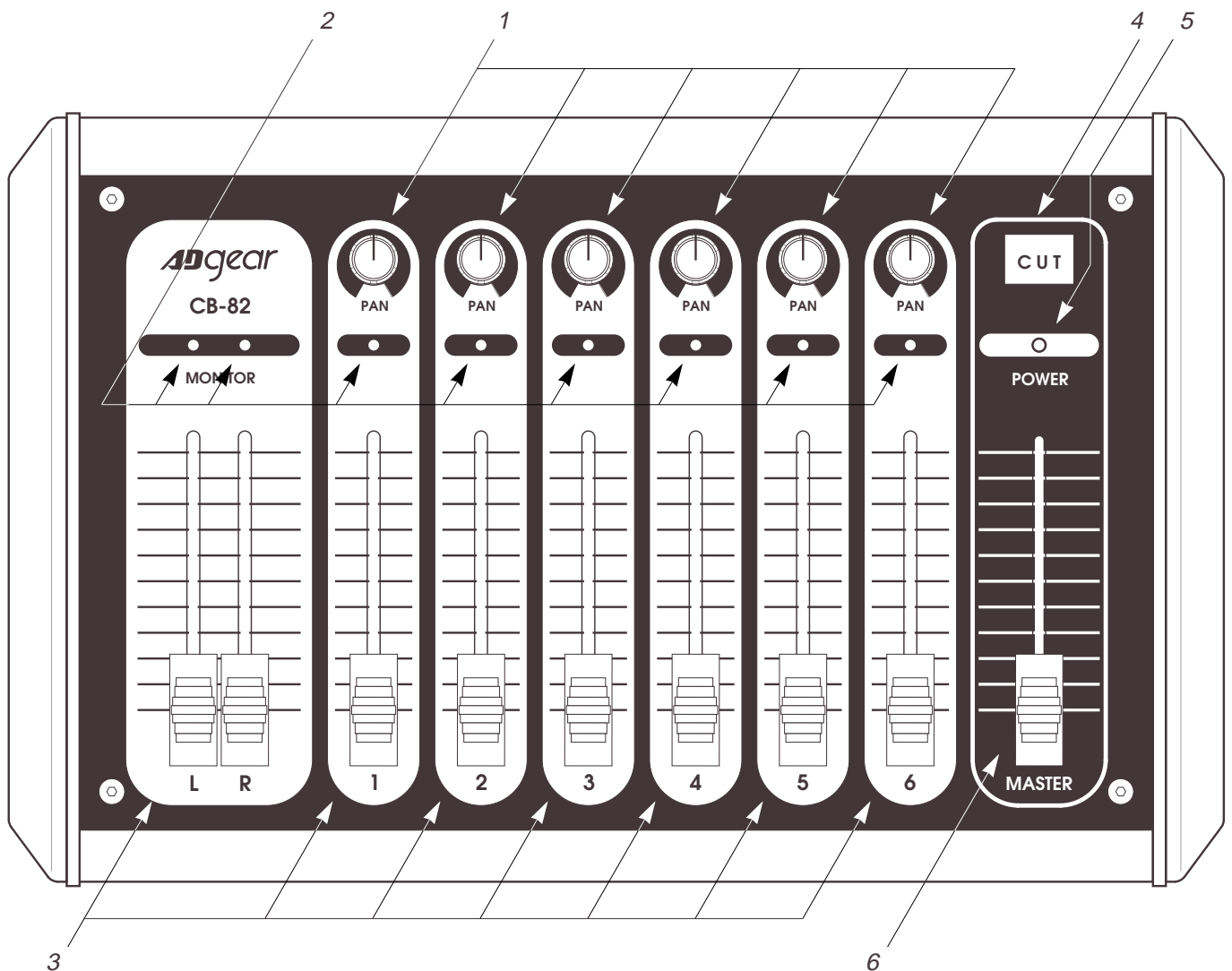
CB-82のヘッドホン出力をカットします。
また、この機能は外部からのリモートが可能で、その際はハーフ点灯をします。
ストリングス等の近くにあつて、誰も使用していないヘッドホンからの音漏れが邪魔な場合等に便利です。

5. POWER INDICATOR

CB-82のパワーインジケーターです。
通常はグリーン、P. 6-10の“STEREO/MONO”スイッチが押されるとオレンジ色で点灯します。

6. MASTER LEVEL

CB-82のマスターレベルで、ヘッドホンアンプの出力をコントロールします。



OPERATION

SUB OPERATION PANEL

7. HEADPHONE

CB-82のヘッドホンジャックです。
ローインピーダンスのヘッドホンをご使用ください。

8. EARPHONE

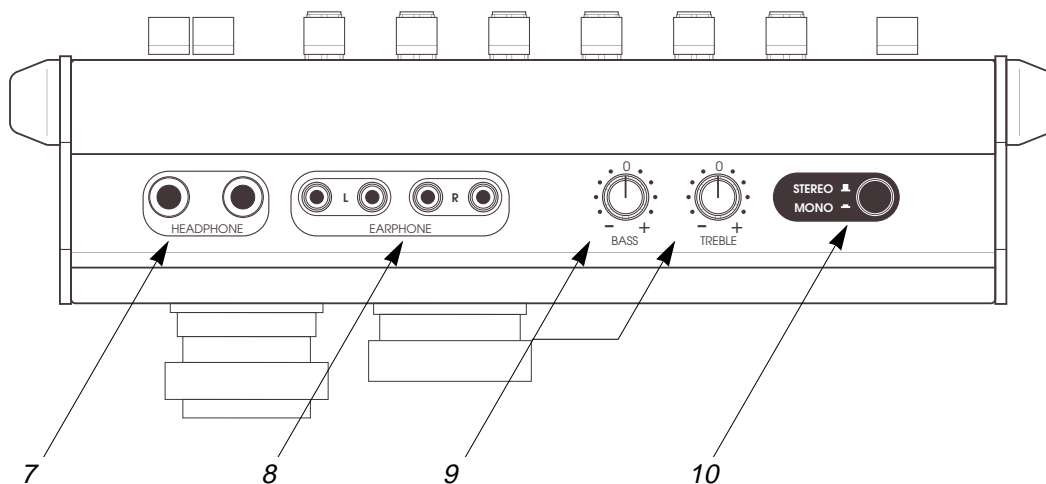
CB-82のモノラル専用イヤホンジャックです。
4つのジャックには通常L/Rがそれぞれ2個ずつ出力されていますが、P. 6-10の“STEREO/MONO”スイッチが押されると全てのジャックからモノラル(L + R)の信号が出力されます。

9. TONE CONTROL

BASS及びTREBLEをそれぞれ最大±12dBコントロールします。
センタークリックの位置ではフラットな特性になります。

10. STEREO/MONO

このスイッチが押されるとCB-82の全てのジャックにモノラルの信号が出力されます。
また、P. 5-5の“POWER INDICATOR”がオレンジ色に点灯し、モノラルである事を知らせます。



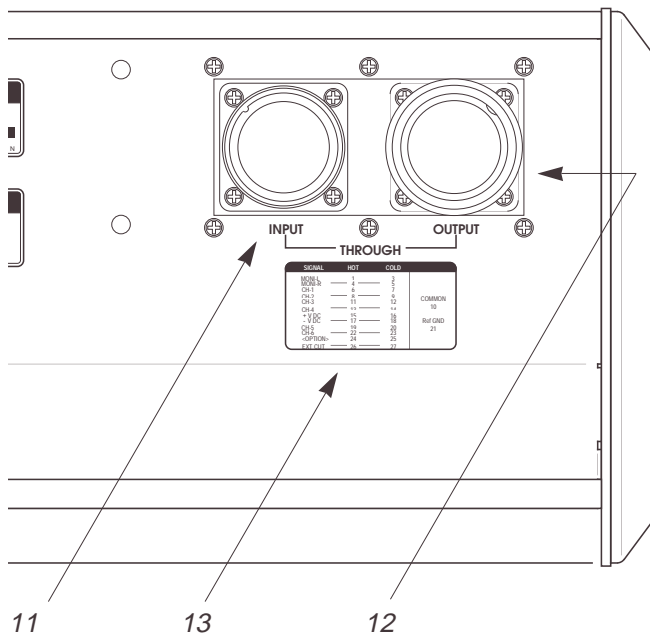
BOTTOM PANEL

11. INPUT

CB-82の入力コネクタです。
CB-82はこのコネクタから音声・電源及びカッリモートの必要な信号全てを入力します。

12. OUTPUT

入力コネクタにスルー（並列）接続されたコネクタです。
このコネクタからCB-82を更に接続する事ができます。



13. CONNECTOR PIN ASSIGN

SIGNAL	ピン No.		
	HOT	COLD	
MONI-L	1	3	COMMON (0V) 10
MONI-R	4	5	
CH-1	6	7	
CH-2	8	9	
CH-3	11	12	
CH-4	13	14	Ref GND (Shield) 21
+ V DC	15	16	
- V DC	17	18	
CH-5	19	20	
CH-6	22	23	
< OPTION >	24	25	
EXT CUT	26	27	

スタンドご使用にあたって

角度及び高さの調整の際、ラッチメカが働きますが、これはあくまでも調整の為のガイドですので必ず2つのノブを最後まで締めた状態でお使いください。

また、ラッチメカが働いていない状態でノブを締めますと、メインユニットの落下や転倒の原因となり大変危険です。必ず“カチッ！”と音がする位置でノブを締めてください。

マルチケーブルは必ずスタンドのケーブルクランパーに固定し、重心が低くなるような状態でお使いください。

CUE STAND

14. ANGLE ADJUST KNOB

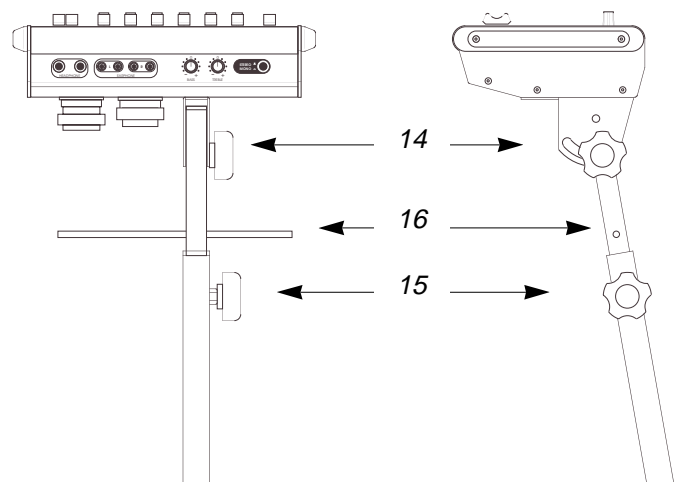
CB-82 メインユニットの傾きを水平から手前に60°の範囲で調整できます。15°毎にラッチメカが働き、5段階の角度が得られます。

15. HEIGHT ADJUST KNOB

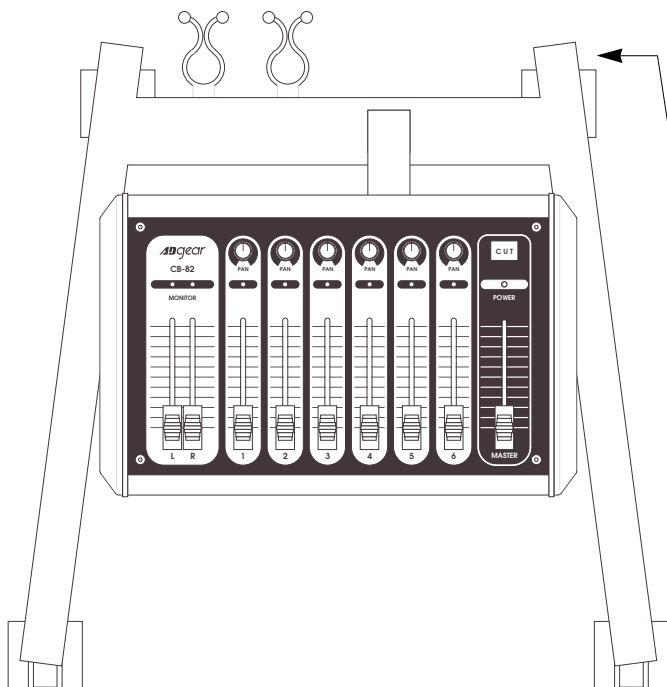
CB-82の高さを約640mm～940mmの範囲で調整できます。15mm毎にラッチメカが働きます。

16. HEADPHONE HOOK

使用していないヘッドホンを掛けておく事ができます。



17



17. CABLE CRAMPER

マルチケーブルをスタンドに固定します。

18. CASTER

手前の2つはストッパー付です。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

入力

モニターL/R	× 1
モノ入力	各1
シグナルインジケータ	× 8 (全入力)
スレッシュホールドレベル.....	-4dBu
基準レベル	+4dBu
インピーダンス.....	10k バランス入力
コネクタ 入力	NK-27-32タイプ オス
出力	NK-27-31タイプ メス

マスター

マスターレベルコントロール	
マスターカットスイッチ	
トーンコントロール	Treble Max ± 12dB
	Bass Max ± 12dB
マスターモノスイッチ	
外部カットコントロール入力	
パワーインジケータ	グリーン (Stereo モード)
	オレンジ (Mono モード)

出力

最大出力	4W RMS × 2/8	Load
コネクタ		
	6.3 標準ジャック (ステレオ)	× 2
	3.2 ミニジャック (モノラル)	× 4
		(L-ch × 2, R-ch × 2)

周波数特性

20Hz ~ 20kHz ± 1dB

消費電流

DC ± 15V 0.8A Max

サイズ・重量

400(W) × 640 ~ 940(H) × 400(D) mm 4kg
(但し突起物は除く。外観図参照)

構成・付属品

CB-82	× 1式
キュースタンド	× 1式
スタンド組立ネジ	× 1式
インストラクションマニュアル	× 1部

オプション

- ・ Cue Cable “CBL8-5” (NK-27-21C 5m NK-27-22C)
- ・ Cue Cable “CBL8-7” (NK-27-21C 7m NK-27-22C)
- ・ Cue Cable “CBL8-10” (NK-27-21C 10m NK-27-22C)

尚、キューケーブルは上記以外にもご希望に応じた長のものをご用意致します。

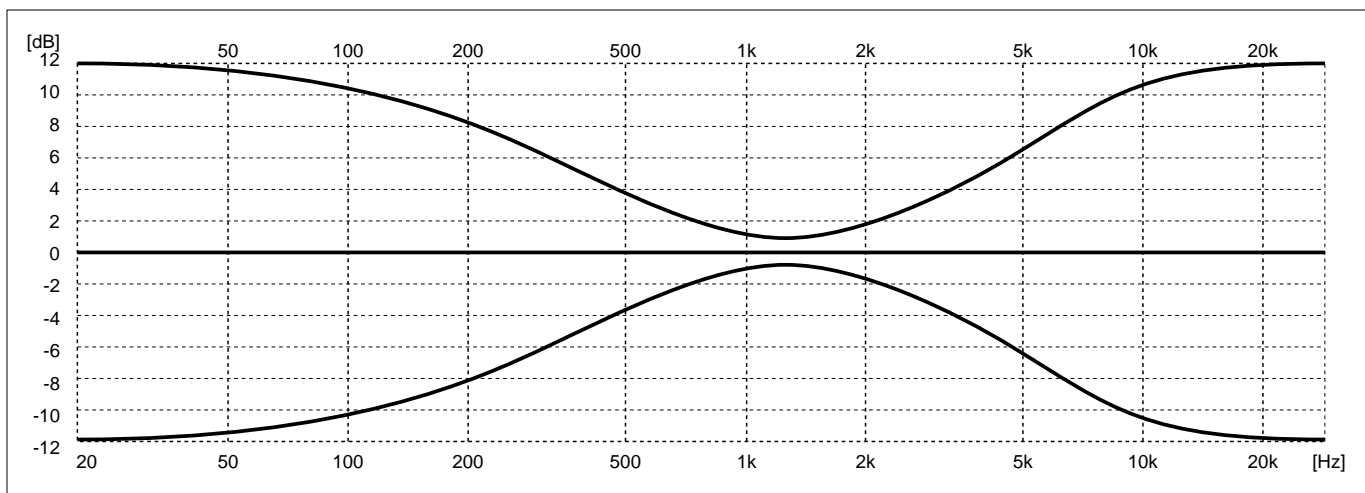
- ・ Cue Box Master “CM-82”

EIA 3Uに8chのバッファアンプ及び10Aの電源を納めたハイパワーキューマスター。全10系統の出力にはそれぞれカットスイッチを装備。CB-82を15台まで使用できる大規模なシステムに対応しています。

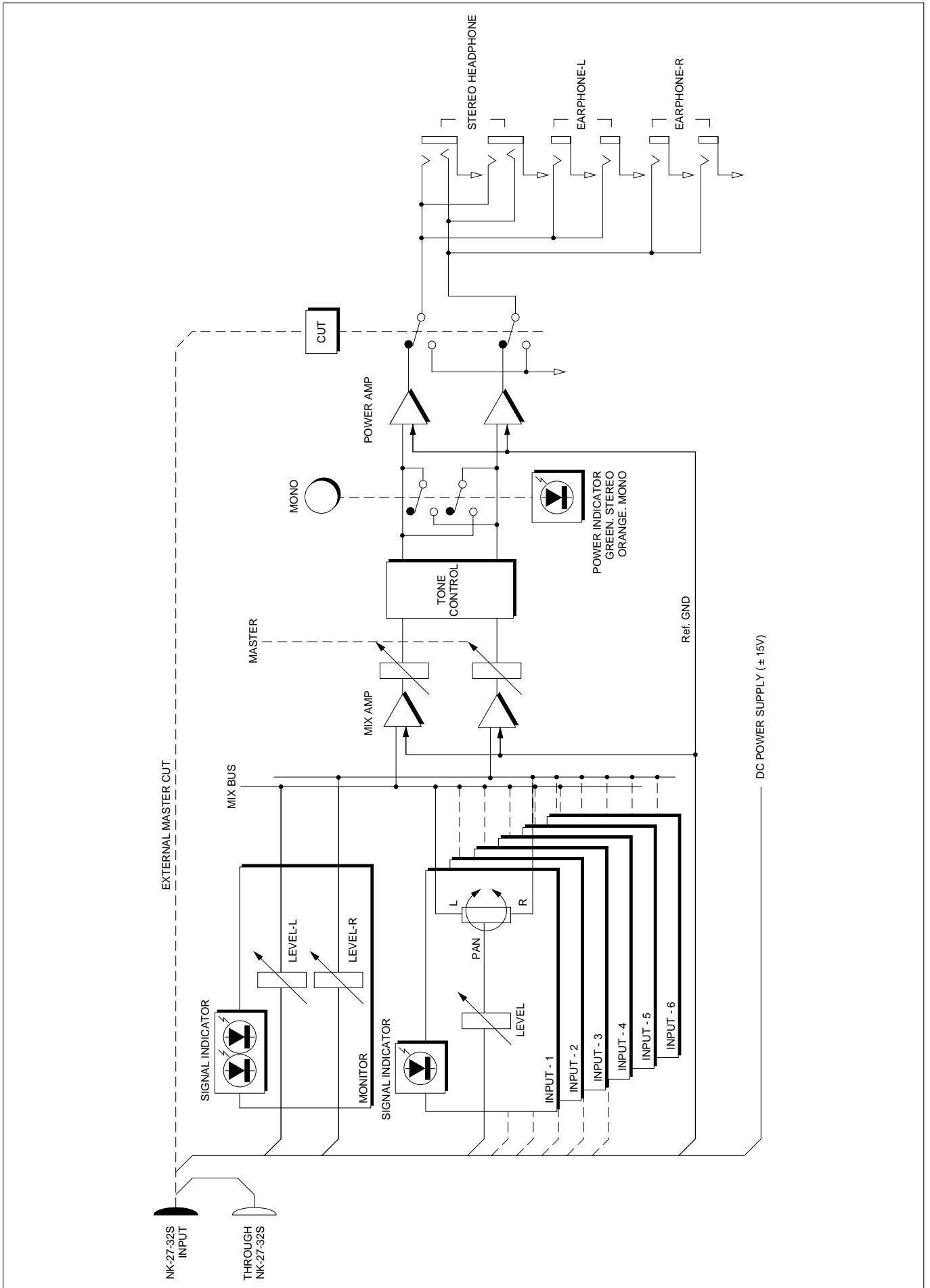
- ・ Power Supply Master “CP-82”

EIA 2Uに3Aの電源を納めたキューマスター。ミックスダウンスタジオ等の比較的小規模なシステムに最適です。(バッファアンプは内蔵していません)

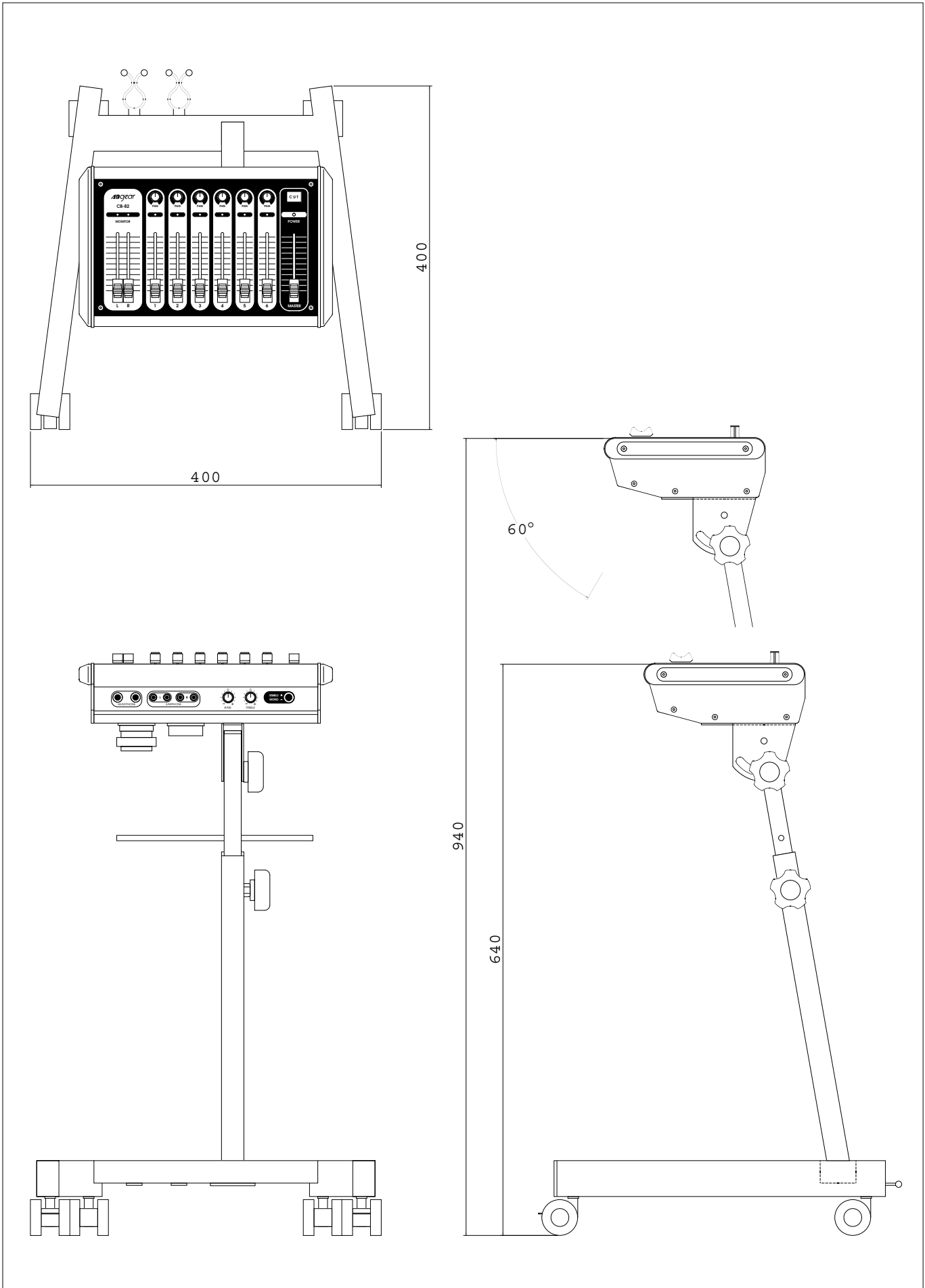
トーンコントロール周波数特性図



BLOCK DIAGRAM



APPEARANCE



WARRANTY 製品の保証について

この度は、アドギア製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依頼される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

iconic
ADgear

お問い合わせ

株式会社 アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529

